

2013 年度ドクター研究員研究活動実績報告書

| | |
|---|-----------------------|
| ふり 氏 がな 名 | いしかわ 石川 ゆう 優 |
| (研究テーマ名) ポピュラー文化ファンによる物語創作に関する研究：「やおい」を中心として | |
| (研究活動実績) <p>申請者の研究は「やおい」の同人誌のテキスト分析を通して、ポピュラー文化の物語が派生テキストとして再生成されていくメカニズムについて検討するものである。ここでいう「やおい」とは女性を主な担い手とした、マンガなどに描かれる男性同士の関係性を軸に再生産された物語群を指している。本年度は、学位請求論文（平成 24 年度受理）の成果に基づき、研究内容を深化させるために国内外で研究活動をおこなった。下記に、本年度の主要な研究活動実績を抜粋して記載する。</p> <p>■ドクター研究員プロジェクトの活動</p> <p>本年度採択された「ポピュラー文化研究における実践と研究の架橋—「やおい/ボーイズラブ」を対象として—」において、ポピュラー文化研究における研究と実践の双方の視点を架橋させる試みをおこなった。5 名の研究協力者とともにシンポジウム「BL のカラダ—マンガ表現にみる男性身体」（2013 年 12 月 15 日、於京都精華大学、主催：大阪市立大学大学院文学研究科都市文化研究センター、京都精華大学国際マンガ研究センター、共催：大阪腐女子研究会）と計 9 回の研究会を実施した。</p> <p>■研究成果の公表（一部）</p> <p>昨年度採択されたドクター研究員プロジェクト「ポピュラーカルチャー研究の領域横断的な方法論の検討—「やおい/ボーイズラブ」を対象に」の成果を『都市文化研究』に投稿した（石川優、東園子、西原麻里、杉本＝バウエンス・ジェシカ、木下衆「やおい/BL を研究する—方法論とディシプリン」、『都市文化研究』第 16 号、大阪市立大学大学院文学研究科都市文化研究センター、2014 年）。</p> <p>■海外での研究活動</p> <p>大阪市立大学大学院文学研究科の「インターナショナルスクール若手研究者海外渡航支援」に採択され、台北において研究発表およびフィールド調査をおこなった（2014 年 2 月 14 日～18 日）。</p> <p>Yu ISHIKAWA, “Floating authors: paratext analysis of fan works”, Participatory and Popular Culture 2014 Winter Conference, 2014.</p> | |